あなたの歯の健康を守る
令和８年２月発行

香林坊歯科クリニック

NO.206

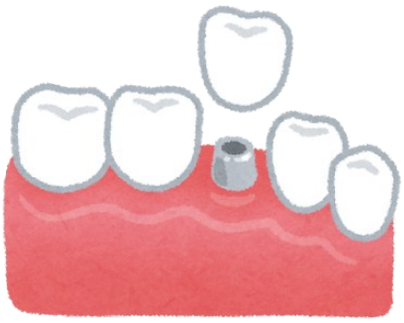
定期的に通おう！
インプラントのメインテナンス！

インプラントを入れた後は、歯科での定期的なメインテナンスが欠かせません。
でも「痛くないから」「違和感がないから」とだんだん通わなくなってしまう人が意外と多いのです。

メインテナンスでは何をする?

◆メインテナンスは、いわばインプラントの健康診断。インプラントやその周りの歯ぐきやあごの骨の状態を検査します。

◆くわえて、プロの手によるインプラントの徹底的なクリーニングや、患者さんのセルフケアが適切になされているかのチェックも行います。



インプラントの検査

① **出血を見る**
インプラントと歯茎の間に、プローブという細長い器具を挿し込みます。この時出血したなら、細菌が歯茎に炎症を起こしている証拠です。

② **ポケットの深さを測る**
先ほどの器具（プローブ）に目盛りがついているので、挿し込んだ際に深さも測定します。最初にインプラントを入れた時のポケットの深さから変動があるかを調べます。

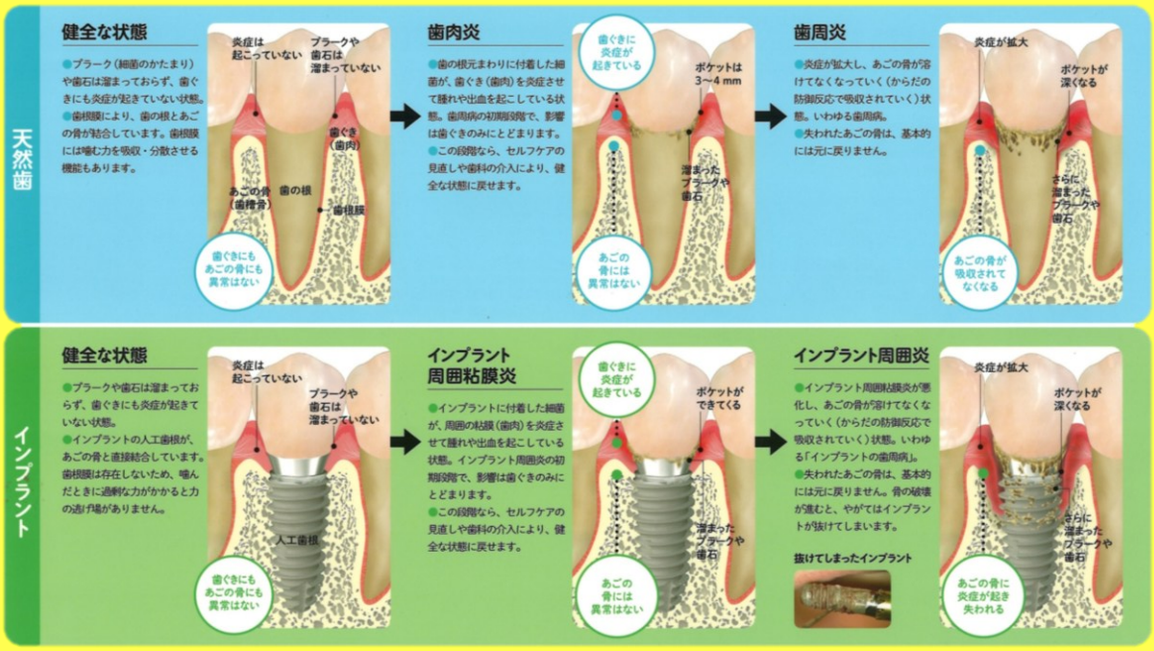
③ **膿が出ていないか診る**
器具を挿し込んだ時に歯茎から膿が出てこないかを診ます。歯茎の炎症が進むと、インプラントと歯茎のポケットが深くなり、膿が出るようになります。

④ **レントゲンを撮る**
レントゲンを撮影して、あごの骨の状態を確認します。

⑤ **インプラントの動揺を診る**
必要があれば上部構造を外してアバットメントを触診します。骨に炎症など異常が起きている場合、揺れて動きます。

⑥ **噛み合わせのチェック**
噛んだ時に違和感はないが、過剰な力が偏ってかかってないか、歯ぎしりの影響はないかなどをチェックします。

インプラントも“歯周病”になるんです！



nico 2020 年 12 月号参照